

議会報告会 結果報告

開催日時	平成 28 年 6 月 24 日（金） 第 1 部：午後 3 時から 第 2 部：午後 7 時から
開催場所	箱根町役場本庁舎 4 階会議室
出席議員	沖津弘幸議長、川端祥介副議長、村野由紀子議員、川口延明議員、勝俣剛一議員、小川鶴雄議員、勝俣公好議員、山田成宣議員、稲葉親太郎議員、山田和江議員、遠藤秀則議員（午後 3 時からのみ）、折橋尚道議員、西村和夫議員（午後 3 時からのみ） ※欠席：石川栄議員
参加者	第 1 部：町民 3 名、町外 2 名、報道 1 名（タウンニュース） 第 2 部：町民 2 名、町外 2 名、報道 2 名（神奈川新聞、神静民報）
役割分担	司会：稲葉広報広聴委員長 受付：村野広報広聴委員、川口委員広報広聴委員 記録：村野委員 発表：①議会改革について…折橋議会改革等推進特別委員長 ②行財政改革調査特別委員会活動報告について 第 1 部…西村行財政改革調査特別委員長 第 2 部…勝俣剛一行財政改革調査特別委員会副委員長 歳入分科会説明…村野分科会長 歳出分科会説明…川口分科会長 閉会の挨拶：川端副議長

参加者からの質疑・提案等概要

●第 1 部

議会改革についての質疑

参加者Q. 説明された内容外であるが、陳情について卓上配付にされてしまうことが多々あるが、どうしてか。

議員A. 陳情の取扱いについては、議会運営委員会で決定している。

参加者Q. 陳情はどのような時に審査されるのか。

議員A. 議会運営委員会のメンバーが審査が必要だと判断した場合に、委員会に付託され審査されることとなる。昨年度は、卓上配布が 12 件、趣旨採択 3 件、採択 1 件の計 16 件となっている。

参加者Q. 議会全体で話し合わず、議会運営委員会で決めるのか。

議員A. 議会運営委員会の決定事項となるため、他の議員はそれに従う。

参加者Q. 町民から上がったものについては、きちんと審議してもらいたい。

議員A. 町において関係があるかどうか判断して、対応している。

●第 2 部

議会改革についての質疑

参加者Q. フェイスブックを見ているが、新鮮で細かい情報をお願いしたい。

議員A. 今後、心掛けていきたい。

参加者Q. メルマガ等によって情報を得ているが、月例日についての情報がない。

議員A. 議会カレンダーの話が出ている。今後、心掛け、わかりやすく示していきたい。

行財政改革についての質疑

参加者Q. 3年後、固定資産税率が元に戻るように、議会としてがんばってもらいたい。

議員A. 状況を鑑みながら対応していく。

参加者Q. レイクアリーナの指定管理者が、国際学園となった。現在、元仙石原中学校を星槎運営しており、100%とまではいかないが、まあまあ頑張っていると思うため、指定管理者として認めたことについて評価する。また、指定管理者に決定したから終わりではなく、今後も見守っていただきたい。

議員A. 町の情勢を見て、しっかりと判断していきたい。また、町とともに見守ってきたい。

予算質疑についての質疑

参加者Q. 歳入の使用料3億円の中に、賃借料が含まれているか。

議員A. 賃借料も含まれている。

参加者Q. 星槎（旧仙石原中学校）の賃借料が無償だと町民から聞かれ、そんなことはないと答えているが、実際どうなのか。

議員A. 建物は無償であるが、土地は賃貸契約を結び賃借料をもらっているので、誤解されていると思う。

参加者Q. 誤解されるというのは、議会の不信にも繋がるので、しっかりと情報発信をしてもらいたい。

参加者Q. 議会だよりの予算質疑ページの勝俣剛一議員さんの部分が分かりづらい。正確な情報を流してほしい。宮城野保育園のことを聞いているのに、湯本幼児学園のことを答えている。

議員A. 説明会時には湯本幼児学園と同様3億程度の予算が見込まれるとのことであったが、宮城野は水が多く出ており外構工事にお金がかかること、また震災やオリンピックの影響等から、予算が多くなったとの説明を受けた。

参加者Q. 言い回しがおかしく、ちょっと理解に苦しむ。

議員A. 今後気をつける。

その他（提案）

参加者Q. 昨今の雨で、早川の水が白濁していて、まるで温泉のようである。これで環境推進をしていると言えるのか。早川の水がきれいということは、箱根のイメージアップにつながる。環境整備をきちんとしてもらいたい。早川の水の自然環境を考える会を発足したいと考えているので、議員の皆さんの賛同を得たい。議長の考えを伺いたい。

議員A. 私も、大切なことだと考える。現在は活動していないが、芦ノ湖水資源の会をやっている。箱根には大事な生物、温泉もある。今後、国や県とともに協力していきたい。

議員Q. いつ立ち上げる予定なのか。

参加者A. 目標は秋までに立ち上げたいと考えている。各地域の議員さんや町民の理解を得ながら進めて行きたい。町内に留まらず、小田原、県全体の問題として、今までと違ったやり方で進めて行きたいと考えている。